

CJK調整委員会の報告

2015年5月20日
堀田博文

■1. 日時

1日目 5月15日(金) 14:00~18:00
2日目 5月16日(土) 9:00~16:00

■2. 場所

KISAオフィス(ソウル 江南)

■3. 参加者

CGP Wang Wei(チェア)
Kenny Huang(副チェア 2日目のみ)
Declan Ma
Zhiwei Yan
Chris Dillon
JGP Hiro Hotta (Chair)
Yoshiro Yoneya
Yuri Takamatsu
KGP Kim Kyongsok(チェア)
Shin Sanghyun
Cho Sungduk
Minjung Park
Minjee Kim
YJ Park (1日目のみ)
Yunmi Choi (1日目のみ)
Ryoung Chae (1日目のみ)
Minjung Park
Minjee Kim
Kelly Kang
Dongman Lee (2日目の一部 remote)
IP Asmus Freytag (remote)
Nicholas Ostler (remote)
Wil Tan (remote)
advisor Edmon Chung (ICANNがCJK調整アドバイザーに指名)
ICANN Sarmad Hussain (remote)

■4. 主な進展と結論

- (a) 初のアジェンダありのCJK会合が開催された(これまでは完全非公式)
- (b) CGP/JGPに押され、KGPがアウトプットを出し始めた
- (c) 各GPの活動とその結果の仕様に対するIPからの要請内容がほぼ明確になった(検討進展に伴いさらに要請仕様が増える可能性あり)
- (d) 米谷アルゴリズムをフレームワークとすることが正式に合意された

■5. 内容

▼A. 用語定義

A1 CJK間およびCJK+IP間で用語統一を図るため、JGP案を修正、拡充する

61: 格好で用語定義文書を作る。

62:

63: ▼B. 各GPの状況

64:

65: B1 CGP: C-LGR-1のレパトリと異体字定義の改訂版をドラフト完了

66:

67: B2 JGP: J-LGR-1のレパトリと異体字定義の改訂版をドラフト完了

68:

69: B3 KGP: K-LGR-1のレパトリと異体字定義の改訂版をドラフトのドラフト完了

70: - 異体字70組程度を仮に書き込んだが、仮であり異体字有無は未定

71: - ハングルと漢字両方(混合利用の可能性もあり)を扱うKGPとなるため

72: KGPの構成に苦心中

73: - CGPやJGPのようにKGPでは漢字の経験がないため、検討進捗が遅い

74: - ざっくり言ってK-LGR-1のKGP案ができるのは2015年末と思う

75:

76: ▼C. IPとの課題明確化と議論

77:

78: C1 C/J/K/IP間の用語定義に関し、一部まだ詳細未決定部分が残るがコンセプ

79: トは共通理解となったため、今後書き物にして詳細を決める

80:

81: C2 次のいずれがいいかを、実際のC/J/KのLGR-1案を統合した結果の分析及び、

82: .cn/.jpに実際に登録されている文字列の分析と検討により決める

83: a. LGRの結果allocatableになるラベルの種類を非常に制限しておいて、

84: blockされていたラベルをgTLD申請時に必要に応じて特別に使用可能にす

85: るという手続きを作る

86: b. LGRの結果allocatableになるラベルの種類を多くしておき、その中から

87: 適切なもの(1かごく少数)をgTLD申請時に登録可能にする

88: ただし、a、bともRootLGRを超えた手続きであり、ICANNのgTLD手順に組み

89: 込まれる保証をすることは不可能である

90:

91: ▼D. 米谷アルゴリズムの検討

92:

93: D1 CJKのLGR作成のためのフレームワークとすることを明示的に合意

94:

95: The CJK GPs agree with the principle framework of Yoneya's

96: proposed algorithm for coordination of the CJK LGRs for

97: Han characters, and agree to work together to refine the

98: algorithm to incorporate respective language requirements

99:

100: D2 誤解や漏れを避けるため、ルールの記載は、RFC4743(JETガイドライン)

101: ベースでなく、RootLGRプロジェクトで要請されているXML形式で行う

102:

103: D3 詳細なアルゴリズム記述方法については、分かりやすさも含め改定の可能

104: 性あり

105:

106: D4 言語固有の特性をアルゴリズムに付加する検討は今後

107:

108: D5 IPからWLEは全LGR-2で共通のものとする必要があることが示されたため

109: WLEの相互無矛盾性については、レパトリと異体字定義の後、しっかり

110: 検討・調整する必要あり

111:

112:

113: ■6. 今後の会合予定

114:

115: 6/21-25 ブエノスアイレスICANN会合にて

116: CJKのみで2回

117: IPと合同で2回

118:

119: 7/1-3 マカオAPrIGFにて

120: 非公式CJK

121:
122: ※APrIGF以降の会合予定はブエノスアイレスICANN会合でのCJK会合にて決定。
123:
124: 以上